

## 井上明夫新聞 ～日田市議会だより～

収穫の秋を迎え、さわやかな季節になりました。

しかし今年は「東日本大震災」とそれにともなう「原発事故」、「台風12号」と国内で災害がつづき、今なお被災者の皆さんは苦しんでいます。

一方、たくさんのボランティアや義援金が被災地を勇気づけ、危機に直面した時の日本人の底力が示されています。

国政は相変わらず不安定ですが、市民の皆さんの身近な声が反映される社会となるよう、私としても頑張っていきます！！



### 日田市特別職の給与の削減案などを可決!!

9月議会では一般会計補正予算案など15議案を可決しました。

特別職の給与削減案では、市長はこれまでの20%削減から30%削減に変更して月額610,400円、副市長はこれまでの15%削減から30%削減に変更して月額497,000円、教育長は12%削減から15%削減に変更して月額511,700円となりました。

県下の日田市と同規模の市では、中津市の市長給与が月額796,500円(10%削減)、佐伯市の市長給与が月額748,000円(15%削減)なので日田市長の給与の削減は大きなものとなりました。

### ・ ・ ・ 宮城県七ヶ浜町などの被災地を訪問 ・ ・ ・

10月5日から7日までの日程で、会派(市政クラブ)の議員計6名で宮城県の東松島市・松島町・七ヶ浜町(「日本三景」の松島観光のある地域です)の被災地を訪問しました。被災地の視察だけでは申し訳ないので、10月6日に1日だけ七ヶ浜町でボランティア活動を行いました。

ボランティアの受け入れは、町の社会福祉協議会が中心になって運営している「災害ボランティアセンター」が行い、そこに他県の社協職員や町民ボランティアの方もスタッフとして参加していました。

この災害ボランティアセンターは、今回の震災による急ごしらえではなく、社協が日頃から災害時のサポート体制を研究して設置されたものだそうです。

